

福井県立恐竜博物館

福井福井県勝山市村岡町にある恐竜を主たるテーマとした自然史博物館で、展示内容の量・質共に極めて高く、日本における恐竜博物館の代表

勝山市では、平成元年から続けられている福井県の恐竜化石発掘調査事業により、学術的に貴重な恐竜化石が数多く発見されました。これまでにフクイプトル、フクイサウルスの全身骨格が復元されたのをはじめ、恐竜の卵や幼体の骨、足跡化石なども発見され、恐竜たちの暮らしぶりが次第に明らかになってきています。

これらの成果をもとに、「恐竜」を中心とした国内最大級の地質・古生物学博物館として、「福井県立恐竜博物館」を2000年(平成12年)7月14日にオープンし、現在では、入館者数が年間で50万人を超える福井県を代表するスポットとなっている。

福井県勝山市 福井県立恐竜博物館

8月14日 孫と一緒に福井県の恐竜博物館に行ってきました

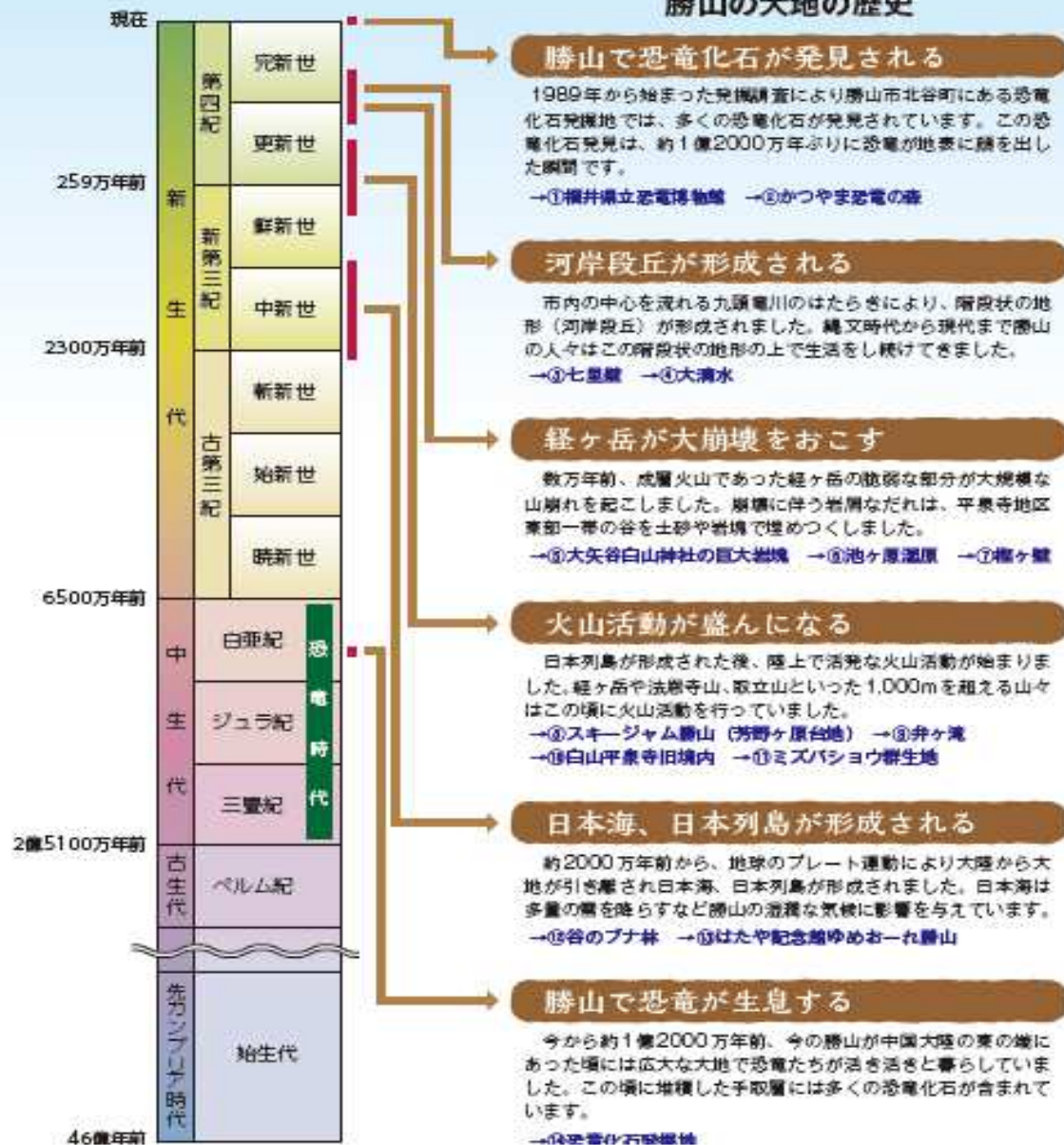
© 2014 ZENRIN
Image © 2014 DigitalGlobe

Google earth

恐竜はどこにいたのか？ 大地が動き、大陸から勝山へ

勝山で発見される恐竜化石は、その変動する大地とともに大陸から勝山にやってきました。恐竜深谷ふくい勝山ジオパークは、恐竜が大陸で活躍していた恐竜時代から化石として勝山で発見されるまでの「恐竜、恐竜化石」を中心とした時間軸の中で起こった様々な地球活動の遺産やそれらに関連する豊かな生態系、歴史、文化など人々の暮らしがにぎやかに触れ、「勝山らしさ」を楽しく学び、体験できる場所です。

勝山の大地の歴史



福井県勝山市の恐竜

FUKUI PREFECTURAL
DINOSAUR MUSEUM



ドロマエオサウルス類
2007年夏に発掘され、部分的な頭骨を含めて全身の約65%の骨が確認されました。全身が羽毛におおわれた、新しい種類の肉食恐竜と考えられます。



フクイティタン
＜フクイティタン・ニッポネンシス＞

2007年夏に発掘され、日本で最初に学名がつけられた竜脚類です。草食の恐竜で全長が約10mと推定されています。原始的なティタノサウルス形類と考えられます。

発見部位



フクイサウルス
＜フクイサウルス・テトリエンシス＞

発掘調査で発見されたイグアノドン類に属する草食恐竜です。多数の骨の発見により、恐竜としては日本で初めて復元された全身骨格で、全長は約5mと推定されています。またイグアノドン類の進化の研究にとって重要な標本です。



フクイラプトル
＜フクイラプトル・キタダニエンシス＞

発掘調査で発見されたアロサウルス類に属する肉食恐竜です。前肢や後肢の骨がほぼ完全にそろっており、肉食恐竜としては日本で初めて復元された全身骨格です。



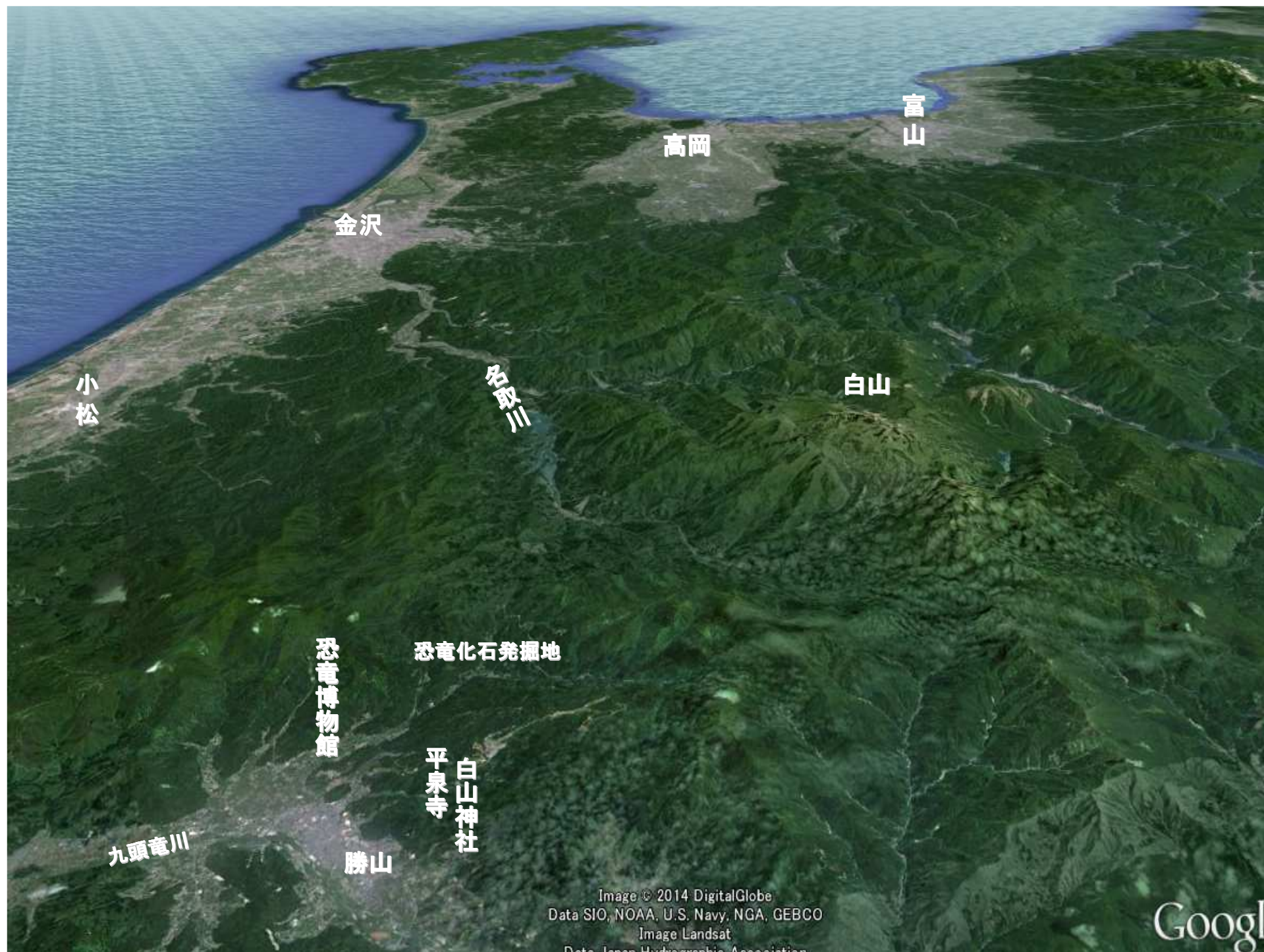


Image © 2014 DigitalGlobe
Data SIO, NOAA, U.S. Navy, NGA, GEBCO
Image Landsat
Data Japan Hydrographic Association

Google

恐竜化石発掘地

恐竜博物館

九頭竜川

勝山

平泉寺 白山神社

Image © 2014 DigitalGlobe

© 2014 Cnes/Spot Image

Google earth



福井県勝山市の恐竜

平成元年から続く福井県の恐竜化石発掘調査事業では、フクイラプトル、フクイサウルスの命名と全身骨格の復元、フクイティタンの命名、恐竜の幼体の骨や足跡化石などの発見があり、恐竜たちの暮らしが明らかになってきています。

フクイラプトル

〈フクイラプトル・キタダニエンシス〉
カルノサウルス類と考えられる肉食恐竜。全長約4.2m。手と足の骨がほぼ完全にそろい、肉食恐竜としては日本で初めて全身骨格が復元されました。

フクイティタン

〈フクイティタン・ニッポネンシス〉
日本で最初に学名がつけられた竜脚類で、原始的なティタノサウルス形類に属しています。発見部位が少ないため、その全体像についてはまだ詳しいことが分かっていません。
※ 右：発見された大たい骨

フクイサウルス

〈フクイサウルス・サトリエンシス〉
イグアノドン類の草食恐竜。多数の骨の発見により、全長約4.7mの全身骨格が復元されました。イグアノドン類の進化の研究にとって重要な標本です。

ドロメオサウルス類

頸骨の一部を含めて、全身の約85%の骨が確認されています。小型の肉食恐竜で、羽をもっていた可能性がります。新種ではないかと期待されています。

※のある図説は福井県立恐竜博物館の提供です。

発掘の様子



恐竜化石発掘地



© 2014 ZENRIN
© 2014 Cnes/Spot Image
Image © 2014 DigitalGlobe
Data SIO, NOAA, U.S. Navy, NGA, GEBCO

勝山市の恐竜化石産地



化石壁全景



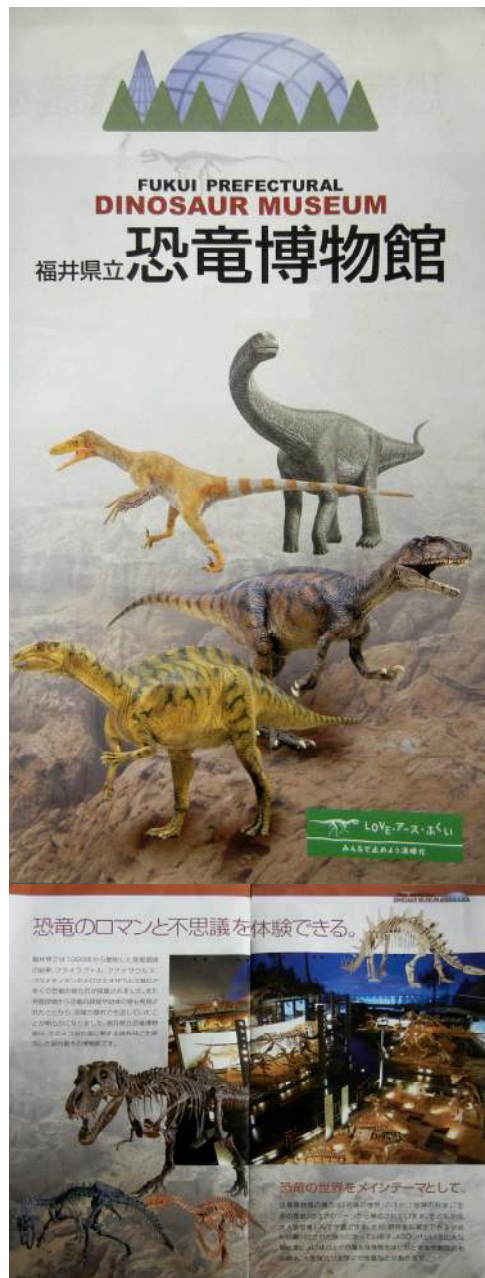
発見された恐竜の大腸骨

福井県勝山市 福井県立恐竜博物館

© 2014 ZENRIN
Image © 2014 DigitalGlobe

Google earth



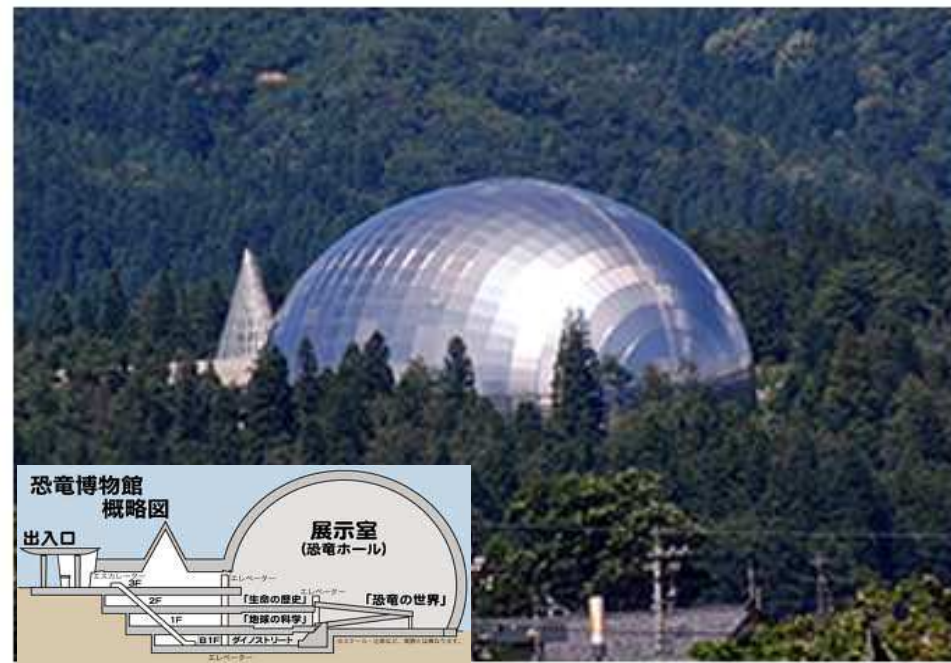


福井県勝山市 福井県立恐竜博物館 2014.8.14.





福井県立恐竜博物館のエントランス



深緑の木々の中に光り輝く福井県立恐竜博物館のドーム



地下1階へおける長いエスカレーターにのって、ドーム内の展示室「恐竜ホール」へ
インターネットより



恐竜博物館 ドームのメイン展示「ティラノザウルス」 2014.8.14.



福井から勝山へ 東から西へ 九頭竜川に沿って 国道416号線 勝山街道 永平寺町を遡る 2014.8.14.



福井県立恐竜博物館

FUKUI 2014. 8. 14. ©2014. 福井県立恐竜博物館



福井から勝山へ 東から西へ 九頭竜川に沿って 勝山街道 国道416号線を遡る 2014.8.14.

福井県立恐竜博物館

FUKU 2014. 8. 14. 09:00 - 10:00



恐竜溪谷の名前が道路標識に また 水力発電所が右手に 2014.8.14.
国道416号線 市荒川橋の手前で



九頭竜川の南側から北側へ市荒川橋を渡って 勝山市に入り さらに東へ 2014.8.14.
雲がかかっているが、岐阜県との県境 白山山系の山々が壁のようにたちはだかっている



真っ直ぐ東の山並みへ延びる国道416号線 山並みがぐんぐん近づいてくる 勝山市荒土町で



福井県立恐竜博物館
FUKUI 2014. 8. 14. JAPAN JUV



勝山の市街地に入り、左手の山裾の丘に銀色卵型のドームが見え隠れ
間もなく左手に恐竜博物館への標識がでてきて、どうやらこのドームが博物館のようだ



福井県立恐竜博物館
FUKUI 2014. 8. 14.



416号線を左手に折れると銀色卵型のドームが正面に 恐竜博物館はすぐそこに
私の抱いていたイメージとは全く異なる大きな博物館であると

福井県立恐竜博物館
FUKU 2014. 8. 14. 2014. 8. 14. 2014. 8. 14.



福井県立恐竜博物館
FUKUI 2014. 8. 14. 撮影: 山本 隆夫

恐竜博物館手前の道脇には「白恐竜・ホワイトザウルス」のモニュメント 2014.8.14.



福井県立恐竜博物館
FUKU 2014. 8. 14. 08:00 - 16:00



福井県立恐竜博物館
FUKUI 2014. 8. 14. 2014. 8. 14.

ホワイトザウルスのモニュメント前で 2014.8.14.





福井県立恐竜博物館
FUKUI 2014. 8. 14. ©MUSEUM

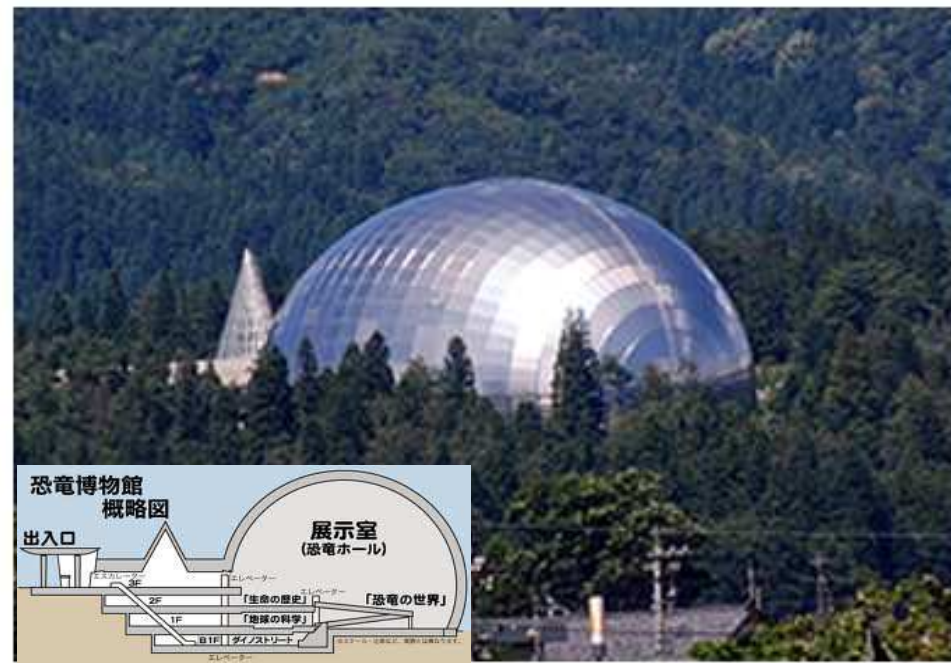


福井県立恐竜博物館
FUKU 2014. 8. 14. © 2014. 福井県立恐竜博物館





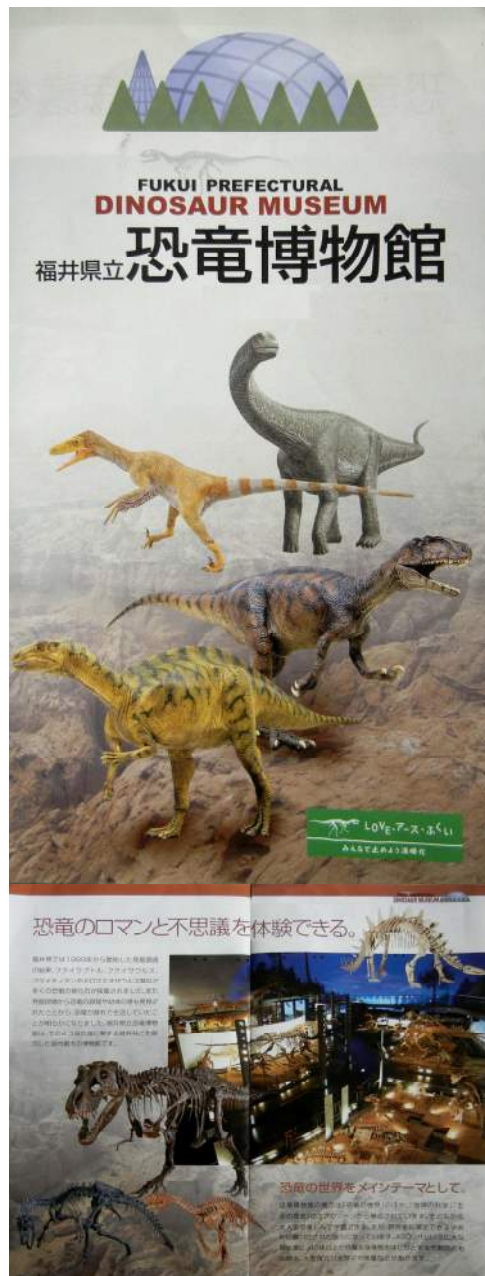
福井県立恐竜博物館のエントランス



深緑の木々の中に光り輝く福井県立恐竜博物館のドーム



地下1階へおる長いエスカレーターにのって、ドーム内の展示室「恐竜ホール」へ
インターネットより





福井県立恐竜博物館

FUKU 2014. 8. 14. © 2014 福井県立恐竜博物館

1階 恐竜の世界ゾーン DINOSAUR WORLD

タイムスリップした
恐竜に会える。

展示のメインとなる、恐竜全身骨格を展示している「恐竜の世界」。「恐竜のからだくらし」、対面スクリーンの「ダイノシアター」、ジオラマ「中国四川省の恐竜たち」、「日本とアジアの恐竜」などのコーナーがあります。

恐竜全身骨格のうち、カマラサウルス、カンブトサウルス、プロサウロプス、エドモントサウルス、ヒバクロサウルス、ユーロプロケファルス、アルバータケラトプスは実物の骨を用いて組み上げられています。
(右図中に★を付けています)

ジオラマ「中国四川省の恐竜たち」

ダイノシアター

「恐竜のからだくらし」

カマラサウルス産状

恐竜の繁栄—竜盤目

竜脚形亜目

恐竜の繁栄—鳥盤目

周飾頭亜目

装盾亜目

鳥脚目



福井県勝山市の恐竜

FUKUI PREFECTURAL
DINOSAUR MUSEUM

ドロマエオサウルス類

2007年夏に発掘され、部分的な頭骨を含めて全身の約65%の骨が確認されました。全身が羽毛におおわれた、新しい種類の肉食恐竜と考えられます。



フクイティタン

<フクイティタン・ニッポネンシス>

2007年夏に発見され、日本で最初に学名がつけられた竜脚類です。草食の恐竜で全長が約10mと推定されています。原始的なティタノサウルス形類と考えられます。



発見部位



フクイサウルス

<フクイサウルス・テトリエンシス>

発掘調査で発見されたイグアノドン類に属する草食恐竜です。多数の骨の発見により、恐竜としては日本で初めて復元された全身骨格で、全長は約5mと推定されています。またイグアノドン類の進化の研究にとって重要な標本です。



フクイラプトル

福井県立恐竜博物館

FUKUI 2014. 8. 14.





福井県立恐竜博物館

FUKUI 2014. 8. 14.

カマラサウルス層状化石

Compsognathus - the death pose



カマラサウルス属化石
 本標本は、アメリカ合衆国ワイオミング州ビッグホーン郡のシェルという小さな町の近くで発見された、後頭部のカマラサウルスです。頭から肩胛骨でほぼ全身の骨格が保存されている非常に貴重な標本です。
 全長約15mで、体の前部を下にし、頸部と肩胛骨が覆り上がった、いわゆる「海亀さび」の状態で発見された。頸部は首から分離して少し移動しているが、それ以外の部分ではつながったままであることから、死後に腐って骨がバラバラになる前に土に埋もれたことがわかります。

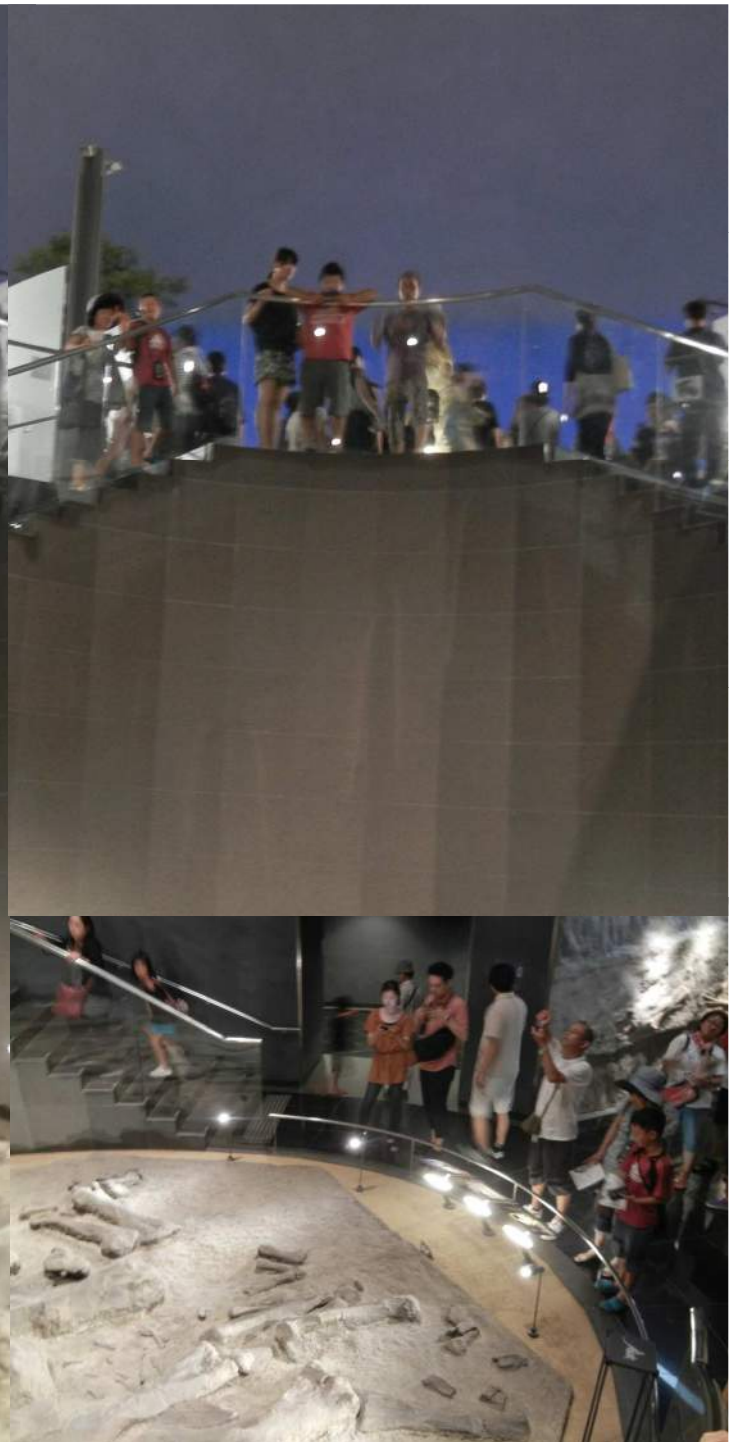


カマラサウルス属化石
 Comanchesaurus - the death pose
 本標本は、アメリカ合衆国ワイオミング州ビッグホーン郡のシェルという小さな町の近くで発見された、後頭部のカマラサウルスです。頭から肩胛骨でほぼ全身の骨格が保存されている非常に貴重な標本です。
 全長約15mで、体の前部を下にし、頸部と肩胛骨が覆り上がった、いわゆる「海亀さび」の状態で発見された。頸部は首から分離して少し移動しているが、それ以外の部分ではつながったままであることから、死後に腐って骨がバラバラになる前に土に埋もれたことがわかります。
 This sauropod dinosaur assigned to a species of Comanchesaurus was discovered from the small town Shell of Big Horn County, Wyoming, U. S. A. The preservation of this specimen is marvelous with almost all parts of the skeleton.
 It is assumed to be approximately 15 meters in total length. It lay on right side of the body and warped in a state of a letter "C". The skeleton is nearly in articulation except for the skull, which was detached from the neck and slightly moved, indicates that this dinosaur was buried in sediments before scattering of bones by decomposition of soft tissue after death.



福井県立恐竜博物館

FUKU 2014. 8. 14.





福井県立恐竜博物館
FUKU 2014. 8. 14. 08:00 - 17:00

カマラサウルス^{カマラサウルス}足跡化石
Camarasaurus in the death pool



恐竜博物館 ドームのメイン展示「ティラノザウルス」 2014.8.14.



ティラノサウルス 恐竜博物館で 2014.8.14.



ティラノサウルス 恐竜博物館で 2014.8.14.



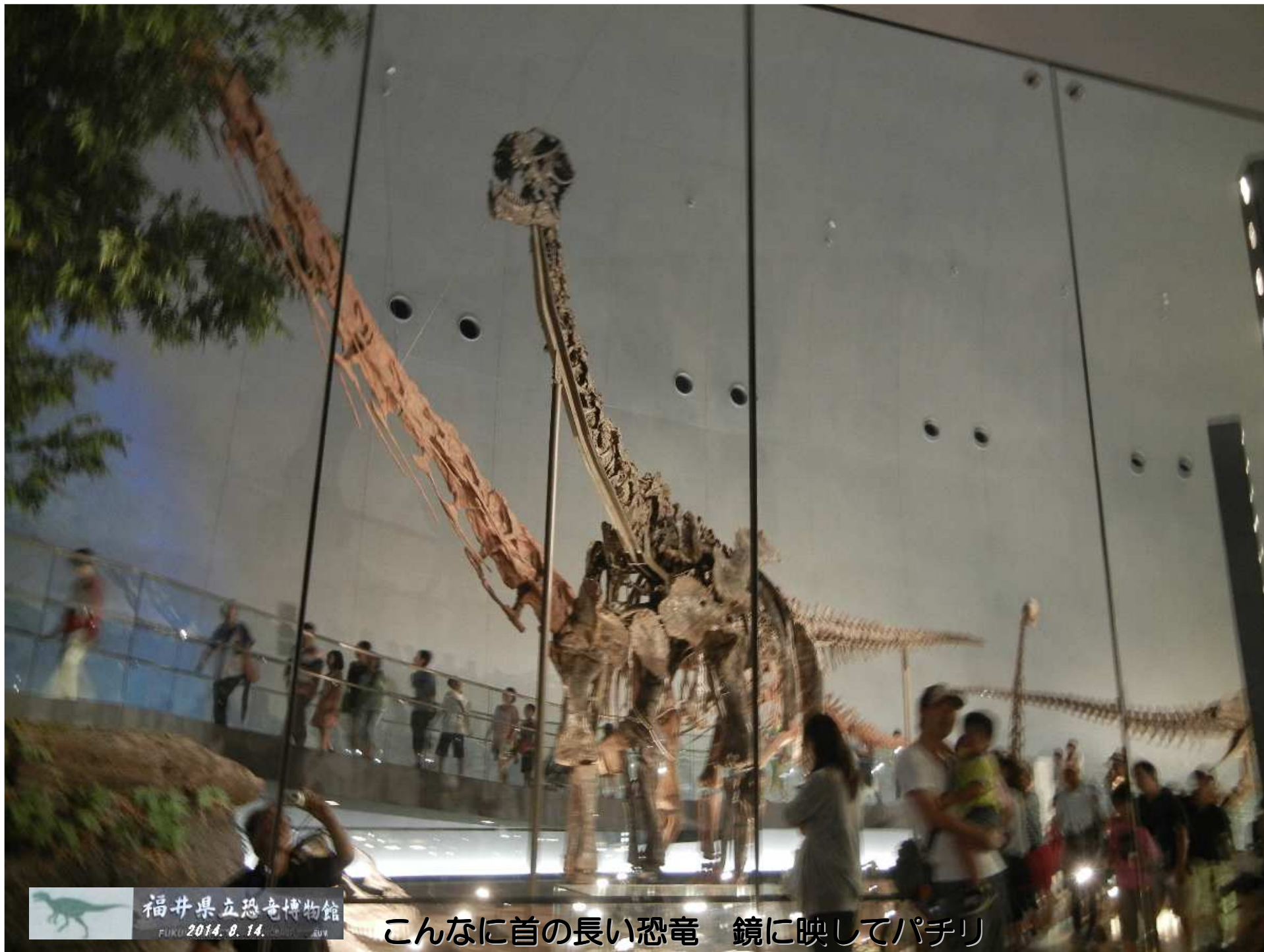
ティラノサウルス 恐竜博物館で 2014.8.14.



福井県立恐竜博物館
FUKUI 2014. 8. 14. © 2014 福井県立恐竜博物館

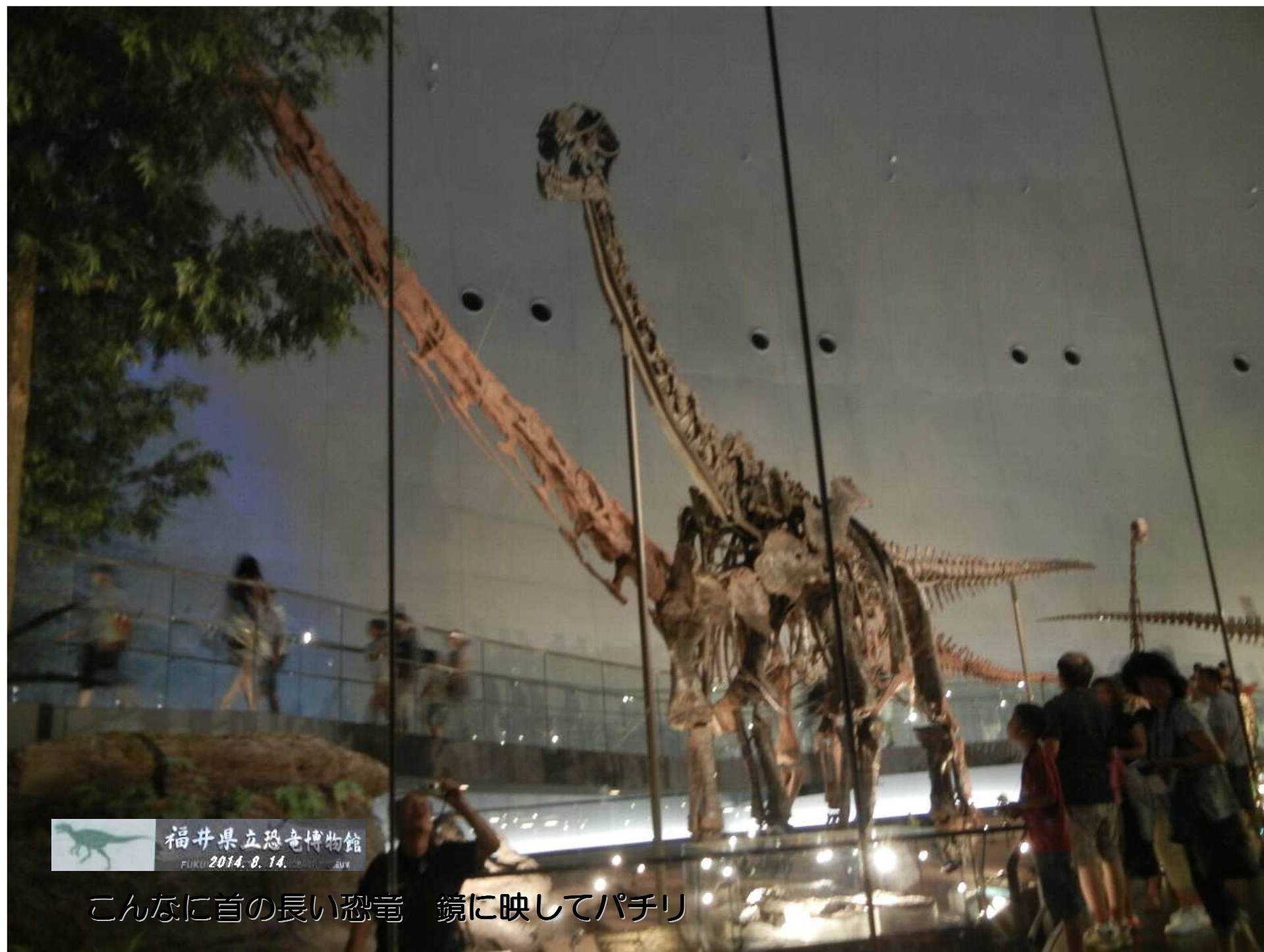


福井県立恐竜博物館
FUKUI 2014. 8. 14. CHANG CHANG



福井県立恐竜博物館
FUKUI 2014. 8. 14.

こんなに首の長い恐竜 鏡に映してパチリ



福井県立恐竜博物館
FUKU 2014. 8. 14. 2014. 8. 14.

こんなに首の長い恐竜 鏡に映してパチリ



福井県立恐竜博物館
FUKU 2014. 8. 14. © 2014 福井県立恐竜博物館



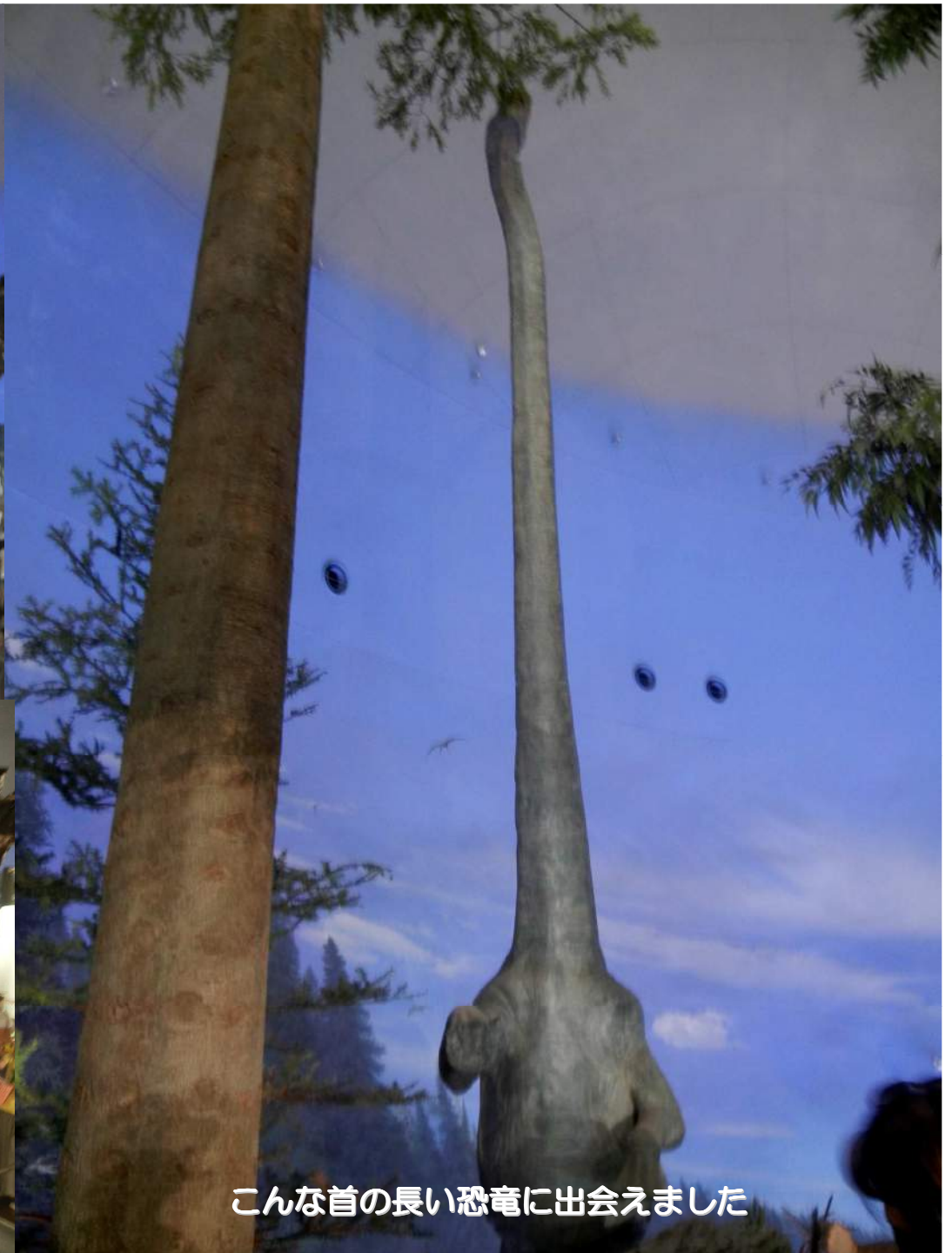
福井県立恐竜博物館
FUKU 2014. 8. 14. 08:00 - 16:00





福井県立恐竜博物館

FUKU 2014. 8. 14. 08:00 - 20:00



こんな首の長い恐竜に出会えました



福井県立恐竜博物館
FUKUI 2014. 8. 14. © 2014 FUKUI PREFECTURE



福井県立恐竜博物館

FUKU 2014. 8. 14.



ティラノサウルス 恐竜博物館で 2014.8.14.



福井県立恐竜博物館

FUKU 2014. 8. 14. CHANG, J. J. J.





福井県立恐竜博物館
FUKU 2014. 8. 14.



恐竜博物館を堪能して帰路に 2014.8.14.夕

かつての白山の表参道
平泉寺白山神社へ寄り道 2014.8.14.

高岡

金沢

小松

名取川

白山

恐竜博物館

恐竜化石発掘地

平泉寺
白山神社

九頭竜川

勝山

Image © 2014 DigitalGlobe
Data SIO, NOAA, U.S. Navy, NGA, GEBCO
Image Landsat
Data Japan Hydrographic Association

Google

かつての白山の表参道
平泉寺白山神社鳥居前 2014.8.15.





平泉寺白山神社説明文

福井、石川、岐阜、の三県にまたがる白山（標高二七〇二メートル）は、古くから信仰の山として、富士山や立山と共に日本の三名山と仰がれました。そして白山は、福井県が生んだ偉大な宗教家、源大僧によって開かれ、ここ平泉寺白山神社も、大師によって養老元年（西暦七一七年）に創立されました。

以来、平泉寺は、白山の表参道として、更に中世には、四十八社三十六堂六千坊が建ち並び、多くの僧兵を擁して大いに栄え、この時代には福井県（当時の越前）の宗教、文化、武力、の中心として、強大な勢力を誇っていたと伝えられています。ところが天正二年（一五七四年）に加賀の一向一揆の乱入によって、全山ことごとく焼失してしまいましたが、豊大僧の時に再興され、尚白山を管理していましたが、明治四年（一八七一年）に白山は、加賀に編入され、同時に神佛分離の命令によって寺号を棄てて白山神社となつて今日に至っています。しかも今猶大社の面目を残し、全盛時代を物語る参道の石だたみ、本社前の大石垣、大拝殿当時の礎石を始めとして、老木が左右に立ち並んでいます。更に六百年前に建てられた楠木正成公の墓塔や、永平寺奉納の石燈籠など、数多くの史跡に富み、平泉寺城跡として国の文化財に指定をされています。また、この境内には慶長年間に作られたと言われる旧玄成院庭園があり、国の文化財に指定されています。このように境内がそのまま史跡であり、数多くの文化財が保存されている所は他には見あたりません。

かつての白山の表参道
平泉寺白山神社鳥居前 2014.8.15.



かつての白山の表参道 平泉寺白山神社鳥居前 2014.8.15.

平泉寺白山神社説明文

福井、石川、岐阜、の三県にまたがる白山（標高二七〇二メートル）

古くから信仰の山として、富士山や立山と共に日本の三名山と仰がれました。そして白山は、福井県が生んだ偉大な宗教家泰澄大師によって開かれ、ここ平泉寺白山神社も、大師によって養老元年（西暦七一七年）に創立されました。

以来、平泉寺は、白山の表参道として、更に中世には、四十八社三十六堂六千坊が建ち並び、多くの僧兵を擁して大いに栄え、この時代には福井県（当時の越前）の宗教、文化、武力、の中心として、強大な勢力を誇っていたと伝えられています。ところが天正二年（一五七四年）に加賀の一向一揆の乱入によって、全山ことごとく焼失してしまいましたが、豊大閣の時に再興され、尚白山を管理していましたが、明治四年（一八七一年）に白山は、加賀に編入され、同時に神佛分離の命令によって寺号を棄てて白山神社となつて今日に至っています。しかも今猶大社の面目を残し、全盛時代を物語る参道の石だたみ、本社前の大石垣、大拝殿当時の礎石を始めとして、老木が左右に立ち並んでいます。更に六百年前に建てられた楠木正成公の墓塔や、永平寺奉納の石燈籠など、数多くの史跡に富み、平泉寺城趾として国の文化財に指定をされています。また、この境内には慶長年間に作られたと言われる旧玄成院庭園があり、国の文化財に指定されています。このように境内がそのまま史跡であり、数多くの文化財が保存されている所は他には見あたりません。



かつての白山の表参道 平泉寺白山神社 境内 2014.8.15.



勝山城博物館 2014.8.15.

福井県立恐竜博物館

福井県勝山市村岡町にある恐竜を主たるテーマとした自然史博物館で、展示内容の量・質共に極めて高く、日本における恐竜博物館の代表

勝山市では、平成元年から続けられている福井県の恐竜化石発掘調査事業により、学術的に貴重な恐竜化石が数多く発見されました。これまでにフクイラプトル、フクイサウルスの全身骨格が復元されたのをはじめ、恐竜の卵や幼体の骨、足跡化石なども発見され、恐竜たちの暮らしぶりが次第に明らかになってきています。

これらの成果をもとに、「恐竜」を中心とした国内最大級の地質・古生物学博物館として、「福井県立恐竜博物館」を2000年(平成12年)7月14日にオープンし、現在では、入館者数が年間で50万人を超える福井県を代表するスポットとなっている。

福井県勝山市 福井県立恐竜博物館

8月14日 孫と一緒に福井県の恐竜博物館に行ってきました

© 2014 ZENRIN
Image © 2014 DigitalGlobe

Google earth

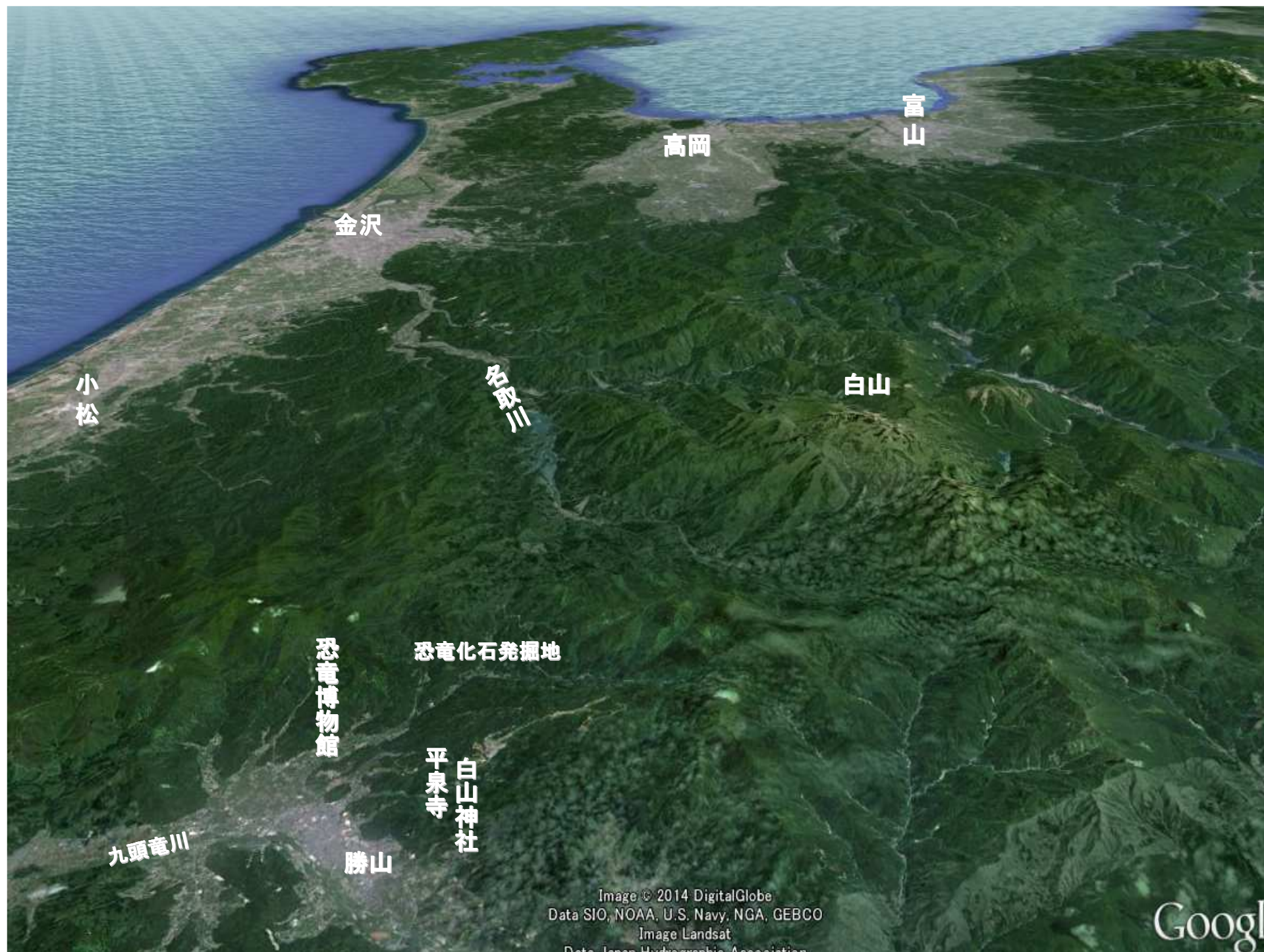


Image © 2014 DigitalGlobe
Data SIO, NOAA, U.S. Navy, NGA, GEBCO
Image Landsat
Data Japan Hydrographic Association

Google